

「高分子鎖1本のサイエンス [みる・はかる]」 正誤表

下記に誤りがございましたことをお詫び申し上げます。 (株)エヌ・ティー・エス

箇所	誤	正
講師プロフィール 第1講 篠原健一 1行目 右	1996年4月~99年3月、(独)日本学術振興会特別研究員 (新潟大学)。	1996年4月~97年3月、(独)日本学術振興会特別研究員 (新潟大学)。
p.7 図5 (B) グラフ の位置 図5キャプション の出典		
図5 (A)図4の拡大像、(B)a~b間のクロスセクション ²⁾ 出典：図4、5ともK. Shinohara, S. Yasuda, G. Kato, M. Fujita, and H. Shigekawa, <i>J. Am. Chem. Soc.</i> 123 , 3619(2001).	図5 (A)図4の拡大像、(B)a~b間のクロスセクション ²⁾ 出典：図4、5ともK. Shinohara, S. Yasuda, G. Kato, M. Fujita, and H. Shigekawa, <i>J. Am. Chem. Soc.</i> 123 , 3619(2001).	
p.11 図9 (a)(b)(c) の脚注を削除		
図9 一本鎖の粗密構造と長周期性 ³⁾	図9 一本鎖の粗密構造と長周期性 ³⁾	
p.11 本文 下から3行目	図10 (a), (b) 同様グラファイト~	図10 (a) 同様グラファイト~
p.12 図10 (a)(b)(c) の脚注を追加		
図10 グラファイト基板表面でのπ共役高分子一本鎖 ³⁾ 出典：図8、9、10ともK. Shinohara, T. Kitami, and K. Nakamae, <i>J. Polym. Sci. Part A: Polym. Chem.</i> 42 , 3930 (2004).	(a)1回目のスキャンによるコンタクトAFM像 (b)2回目のスキャンによるコンタクトAFM像 (c) (a)の1-2のクロスセクション 図10 一本鎖の粗密構造と長周期性 ³⁾	(a)1回目のスキャンによるコンタクトAFM像 (b)2回目のスキャンによるコンタクトAFM像 (c) (a)の1-2のクロスセクション 図10 一本鎖の粗密構造と長周期性 ³⁾
p.12 図11		
図12 (c) のように、~	図13 下ののように、~	

箇所	誤	正
p.16 図14		
p.21 図20 (a)		
図22 (a) 上が蛍光像、下がAFM像です。~	図22 (a) が蛍光像、(b) がAFM像です。~	
p.22 図21 (a)と(b) を入れ替え		
p.27 図28の分布曲線 を変更		